

4年生が牛乳について学びました。

1月24日（金）に、4年生が（株）雪印メグミルクのご協力をいただいて、食育の授業を行いました。内容は「牛乳の大切さ」について学び、体験として「バター作り」を行いました。

*「牛乳の大切さ」

牛乳の栄養（他の食品と比べてカルシウムが多い）、子牛のための乳をいただいていること、牛乳はどうやって作られているのか等々です。

*「バター作り」

生クリームと牛乳を蓋付き容器に入れて振り続け、バターとバターミルクに分離させることでバターができることを学びました。できたてのバターはクラッカーにぬって試食もしました。



<児童の感想>

- ・牛乳が体によいことがわかった。
- ・牛乳はカルシウムがすごく多い。
- ・母牛が子牛にお乳をあげられるのは1週間ぐらいと聞いてびっくりした。
- ・牛乳は子牛を産んだ母牛のお乳をもらっていることがわかった。大切に飲みたい。
- ・子牛は1週間しかお母さんのお乳を飲めなくてかわいそうだと思った。
- ・バター作りは楽しかった。
- ・バター作りは思ったより簡単だけど、10分間振り続けるのが大変だった。
- ・バターの味はいつも食べているバターとは違っておいしかった。

<児童と一緒に参観した保護者の感想>

- ・牛乳のことをわかっているようでも、なるほどと思うことがたくさんありました。カルシウムがどれだけ入っているか、「ほねっこ」の数を出してとてもわかりやすくおもしろかったです。バター作りも簡単においしくできて楽しかったです。
- ・バター作り楽しかったです。家でもできそうなので、子どもと一緒に作ってみたいと思います。工場見学にも行ってみたいくなりました。
- ・とても楽しくおいしかったです。